

平成16年度東京都病院会計決算審査意見書

第1 審査の概要

- 1 審査の対象 病院経営本部
- 2 審査の手続

この決算審査に当たっては、知事から提出された決算書類が、病院事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているかを検証するため、決算諸表、総勘定元帳その他の帳簿及び証拠書類の照合等を行うとともに、関係部局から決算についての説明を聴取するなどの方法により審査を実施した。

また、本事業の経営状況を把握するため計数の分析を行うとともに、経済性の発揮及び公共性の確保の観点から事業運営が適切に行われているかを検証した。

なお、今年度の審査においては、収益的支出及び資本的支出の計理区分が適正に行われているかについて、重点的に審査した。

- 3 審査の期間 平成17年6月3日から同年8月29日まで

第2 審査の結果

- 1 決算諸表について

審査に付された決算諸表は、病院事業の経営成績及び財政状態を、別項指摘事項を除き適正に表示しているものと認められる。

- 2 事業運営について

平成16年度の病院事業は、普通病院8、小児病院2、精神病院2の計12病院において、病床数6,121床の施設規模により運営され、年間延べ患者数は、入院で196万5,133人、外来で242万2,105人となっている。

これを前年度と比較すると、入院では9万9,172人、外来では23万6,127人それぞれ減少している。これは主に、大久保病院が財団法人東京都保健医療公社へ移管（以下「公社移管」という）されたことによるものである。

収支状況は、総収益1,423億余円に対し、総費用1,421億余円で、差引き2億余円の純利益となっている。

資金状況は、4億余円の当年度資金不足を生じ、累積資金剰余額は185億余円となっている。

当年度の経営状況を平成15年1月に策定した財政計画（平成15年度～平成19年度）との比較で見ると、表1のとおり、純利益では計画を達成しているものの、病院の主たる医業活動などから生じる経常損益では計画を26億円下回っている。

本部は「都民に対する『行政的医療』の適正な提供」と「患者中心の医療」を実現するため、都立病院改革実行プログラムを平成15年1月に策定し、経営革新や再編整備などを推進していくこととしている。平成16年度においては、同プログラムに基づき電子カルテの導入や大久保

病院の公社移管などを行っている。しかしながら、病院事業の経常損益は財政計画を下回っており、今後も経営改善の推進に努めていく必要がある。

(表1) 収益的収支計画実績対比表

(単位：億円)

区分	経常自己 収益	一般会計 繰入金	特別利益	総収益	経常費用	特別損失	総費用	経常損益	純損益
計 画	1,088	376	0	1,464	1,464	0	1,464	△ 376	0
実 績	1,018	370	34	1,423	1,420	1	1,421	△ 402	2

(注) この表における経常損益とは、経常自己収益から経常費用を控除したものである。

3 指摘事項について

(1) 決算に関するもの

ア 器械及備品購入費及び工事費（資本的支出）で支出すべきもの（「重点審査事項」）

- ① 墨東病院では CCD カメラシステムの修理として、修繕料（収益的支出、契約金額：26万2千500円）で支出しているが、当該契約の履行状況を見たところ、既存の資産の修理を行わず、新しい CCD カメラシステムを取得していることから、器械及備品購入費（資本的支出）で支出すべきである。
- ② 墨東病院では超音波診断装置の修理として、修繕料（収益的支出、契約金額：409万5千000円）で支出しているが、当該契約の履行状況を見たところ、既存の資産の修理を行わず、新しい超音波診断装置を取得していることから、器械及備品購入費（資本的支出）で支出すべきである。
- ③ 広尾病院では看板（幅800mm×高さ2000mm×厚さ80mm）を設置し、修繕料（収益的支出、契約金額：73万5千000円）で支出しているが、当該看板は鉄筋コンクリート基礎を有する屋外の堅固な構築物であり、工事費（資本的支出）で支出すべきである。

イ 除却手続を適正に行うべきもの

- ① 荏原病院では磁気共鳴断層撮影装置（購入年月日：平成7.12.25、帳簿価額：5,415万2,000円）が老朽化したため処分をしたが、当該資産の除却処理をしておらず、資産を過大に計上しているのは適正でない。
- ② 荏原病院、神経病院及び清瀬小児病院（以下「各病院」という。）は、表2のとおり焼却炉を資産として計上している。

しかしながら、「ダイオキシン類対策取組方針」（平成9年11月）に基づき、都が保有する小型焼却炉は原則使用中止となったため、各病院は平成9年10月以降全く使用しておらず、また、今後も使用する見込みがない状況であるにもかかわらず、除却手続を行っていないのは適正でない。

(表2) 焼却炉資産表

(単位：年、円)

病 院	取得日	耐用 年数	残存 年数	帳簿原価	減価償却累計額	帳簿価額
荏原病院	平成 6 年 10 月 5 日	15	5	15,550,000	9,376,700	6,173,300
神経病院	昭和 55 年 7 月 1 日	25	1	7,974,980	6,890,400	1,084,580
清瀬小児病院	平成 8 年 3 月 25 日	10	1	8,400,000	6,804,000	1,596,000

第3 経営状況の概要

1 経営成績について

(1) 業務実績について

ア 入院患者実績について

当年度の入院患者実績は、表3のとおり、196万5,133人で、前年度(206万4,305人)と比較して9万9,172人(4.8%)減少している。

これは主に、大久保病院が公社移管されたこと、松沢病院で病床数が減少したことにより、入院患者が減少したことによるものである。松沢病院の病床数の減少は、急性期精神医療を中心とした精神医療センター(仮称)への再編整備に向け病床数を段階的に減少させていることによるものである。

(表3) 入院患者の実績比較表

(単位：床、人、%)

	平成16年度			平成15年度			対前年度比較(増△減)			
	病床数	一日当り	年延べ	病床数	一日当り	年延べ	病床数	一日当り	年延べ	率
			A			B			C=A-B	C/B×100
普通病院	4,423	4,005	1,461,708	4,723	4,221	1,544,807	△300	△216	△83,099	△5.4
広尾	476	411	149,951	476	426	155,912	0	△15	△5,961	△3.8
大久保	-	-	-	300	242	88,653	△300	△242	△88,653	△100
大塚	500	438	160,032	500	437	159,797	0	1	235	0.1
駒込	801	731	266,550	801	723	264,773	0	8	1,777	0.7
豊島	360	312	113,667	360	310	113,563	0	2	104	0.1
荏原	500	434	158,595	500	425	155,432	0	9	3,163	2.0
墨東	729	693	253,018	729	692	253,432	0	1	△414	△0.2
府中	761	698	254,806	761	676	247,261	0	22	7,545	3.1
神経	296	288	105,089	296	290	105,984	0	△2	△895	△0.8
小児病院	345	264	96,235	345	275	100,812	0	△11	△4,577	△4.5
清瀬	255	192	69,922	255	196	71,983	0	△4	△2,061	△2.9
八王子	90	72	26,313	90	79	28,829	0	△7	△2,516	△8.7
精神病院	1,353	1,115	407,190	1,402	1,144	418,686	△49	△29	△11,496	△2.7
松沢	1,111	911	332,657	1,160	936	342,410	△49	△25	△9,753	△2.8
梅ヶ丘	242	204	74,533	242	208	76,276	0	△4	△1,743	△2.3
合計	6,121	5,384	1,965,133	6,470	5,640	2,064,305	△349	△256	△99,172	△4.8

(注) 病床数は、予算定床数である。

次に、病床種別の病床数及び病床利用率は、表4のとおりである。病床数は、前年度に比較して普通病床が243床、精神病床が106床それぞれ減少したことにより、全体で349床の減少となっている。病床利用率は、88.0%となっている。

普通病床の減少は、松沢病院で57床を精神病床から普通病床へ振り替えたことにより増加したものの大久保病院の公社移管により300床減少したこと、また、精神病床の減少は、松沢病院で57床を普通病床へ振り替えたこと及び、49床減らしたことによるものである。

(表4) 病床種別の病床数及び病床利用率比較表

区 分	平成16年度				平成15年度				対前年度比較(増△減)			
	病床数	一日当り	年延べ	利用率	病床数	一日当り	年延べ	利用率	病床数	一日当り	年延べ	利用率
	床	人	人	%	床	人	人	%	床	人	人	ポイント
普通病床	4,529	4,138	1,510,160	91.4	4,772	4,314	1,578,863	90.4	△ 243	△ 176	△ 68,703	1.0
精神病床	1,446	1,208	441,088	83.6	1,552	1,281	468,750	82.5	△ 106	△ 73	△ 27,662	1.1
結核病床	86	37	13,675	43.6	86	45	16,544	52.6	0	△ 8	△ 2,869	△ 9.0
感染症病床	60	1	210	1.0	60	0	148	0.7	0	1	62	0.3
合 計	6,121	5,384	1,965,133	88.0	6,470	5,640	2,064,305	87.2	△ 349	△ 256	△ 99,172	0.8

(注) 1 病床数は、予算定床数である。

2 病床利用率は年延べ患者数を病床数×暦日で除したものである。

3 精神病床は広尾・豊島・荏原・墨東・府中・松沢・梅ヶ丘の各病院に、結核病床は府中・清瀬小児の各病院に、感染症病床は駒込・豊島・荏原・墨東の各病院に設置している。

イ 外来患者実績について

当年度の外来患者実績は、表5のとおり、242万2,105人で、前年度(265万8,232人)と比較して23万6,127人(8.9%)減少している。

これは主に、大久保病院を公社移管したこと、駒込病院、大塚病院及び広尾病院において電子カルテの円滑な導入が行えるよう外来患者の受付数を制限したことによる。

(表5) 外来患者の実績比較

(単位：人)

区 分	平成16年度		平成15年度		対前年度比較(増△減)		
	一日当り	年延べ	一日当り	年延べ	一日当り	年延べ	率
		A		B		C	C/B×100
普通病院	7,328	2,154,631	8,076	2,382,458	△ 748	△ 227,827	△ 9.6
広尾	829	243,670	843	248,637	△ 14	△ 4,967	△ 2.0
大久保	-	-	570	168,204	△ 570	△ 168,204	△ 100
大塚	874	257,042	943	278,158	△ 69	△ 21,116	△ 7.6
駒込	1,218	358,038	1,310	386,387	△ 92	△ 28,349	△ 7.3
豊島	582	171,126	606	178,922	△ 24	△ 7,796	△ 4.4
荏原	957	281,247	952	280,883	5	364	0.1
墨東	1,378	405,190	1,409	415,581	△ 31	△ 10,391	△ 2.5
府中	1,462	430,023	1,418	418,227	44	11,796	2.8
神経	28	8,295	25	7,459	3	836	11.2
小児病院	426	125,233	467	137,739	△ 41	△ 12,506	△ 9.1
清瀬	298	87,494	309	91,273	△ 11	△ 3,779	△ 4.1
八王子	128	37,739	158	46,466	△ 30	△ 8,727	△ 18.8
精神病院	484	142,241	468	138,035	16	4,206	3.0
松沢	352	103,387	332	97,957	20	5,430	5.5
梅ヶ丘	132	38,854	136	40,078	△ 4	△ 1,224	△ 3.1
合 計	8,238	2,422,105	9,011	2,658,232	△ 773	△ 236,127	△ 8.9

(2) 収支状況について

当年度の収支状況は、表6(詳細は、別表1比較損益計算書)のとおり、総収益1,423億余円に対して、総費用1,421億余円で、差引き2億余円の純利益を計上している。

(表6) 経営成績比較表

(単位：百万円、%)

区 分	平成16年度 A	平成15年度 B	増 (△) 減	
			金 額 C = A - B	率 C / B × 100
1 医業収益	112,319	117,150	△ 4,831	△ 4.1
2 医業外収益	26,547	31,237	△ 4,689	△ 15.0
3 特別利益	3,440	1,419	2,020	142.3
4 総収益(1+2+3)	142,307	149,807	△ 7,500	△ 5.0
5 医業費用	134,455	141,910	△ 7,455	△ 5.3
6 医業外費用	7,519	7,799	△ 280	△ 3.6
7 特別損失	131	996	△ 864	△ 86.8
8 総費用(5+6+7)	142,106	150,706	△ 8,600	△ 5.7
9 医業損益(1-5)	△ 22,135	△ 24,760	2,624	△ 10.6
10 経常損益(1+2)-(5+6)	△ 3,107	△ 1,322	△ 1,785	135.0
純利益	201	△ 898	1,099	△ 122.4

ア 収益について

総収益は表7のとおり、1,423億余円で、前年度(1,498億余円)と比較して、75億余円(5.0%)減少している。

医業収益は1,123億余円で、前年度(1,171億余円)と比較して、48億余円(4.1%)減少している。

これは主に、一般会計負担金が11億余円増加したものの、入院収益が42億余円、外来収益が16億余円それぞれ減少したことによるものである。

入院収益の減少は、大久保病院の公社移管、病床利用率が増加したものの薬価改定など診療報酬改定の影響により入院患者一人当り単価が減少したことなどによるものであり、外来収益の減少は、大久保病院の公社移管などによるものである。

医業外収益は265億余円で、前年度(312億余円)と比較して、46億余円(15.

0%) 減少している。

これは主に、一般会計補助金のうち特殊医療経費が対象支出の減少により40億余円減少したことによるものである。

特別利益は34億余円で、主なものは、母子保健院跡地の一部及び成増住宅跡地の土地売却利益である。

(表7) 収益比較表

(単位：百万円、%)

区 分	平成16年度 A	平成15年度 B	増(△)減	
			金 額 C = A - B	率 C / B × 100
医業収益	112,319	117,150	△ 4,831	△ 4.1
入院収益	70,414	74,646	△ 4,232	△ 5.7
外来収益	24,051	25,698	△ 1,647	△ 6.4
一般会計負担金	16,010	14,842	1,167	7.9
その他医業収益	1,843	1,962	△ 119	△ 6.1
医業外収益	26,547	31,237	△ 4,689	△ 15.0
受取利息及び配当金	2,746	2,795	△ 49	△ 1.8
一般会計負担金	2,624	2,766	△ 142	△ 5.2
一般会計補助金	18,441	22,851	△ 4,409	△ 19.3
国庫補助金	377	284	93	33.0
その他医業外収益	2,358	2,540	△ 182	△ 7.2
特別利益	3,440	1,419	2,020	142.3
総収益	142,307	149,807	△ 7,500	△ 5.0

一般会計繰入金は370億余円で、前年度(404億余円)と比較して、33億余円減少している。一般会計繰入金の内訳は、表8のとおりである。

このうち一般会計負担金は、一般会計補助金の特殊医療経費に含まれていた小児専門病院運営経費が小児医療経費として組み替えられたことなどにより、10億余円増加している。

また、一般会計補助金は、特殊医療経費において小児専門病院運営経費が一般会計負担金に組み替えられたこと、難病医療経費の対象支出が減少したことなどにより44億余円減少している。

(表8) 一般会計繰入金内訳比較表

(単位：百万円)

区 分	平成16年度	平成15年度	増(△)減
一般会計負担金	18,634	17,609	1,024
医業収益	16,010	14,842	1,167
救急医療経費	5,721	5,847	△ 125
精神病院運営経費	6,107	6,251	△ 144
小児医療経費	1,845	-	1,845
保健衛生行政経費	2,336	2,743	△ 407
医業外収益	2,624	2,766	△ 142
建設又は改良に要する経費	2,624	2,766	△ 142
一般会計補助金	18,441	22,851	△ 4,409
医業外収益	18,441	22,851	△ 4,409
高度医療経費	7,996	8,266	△ 270
特殊医療経費	9,122	13,200	△ 4,078
建設又は改良に要する経費	1,322	1,383	△ 60
合 計	37,076	40,460	△ 3,384

イ 費用について

総費用は、表9のとおり、1,421億余円で、前年度(1,507億余円)と比較して、86億余円(5.7%)減少している。

医業費用は、1,344億余円で、前年度(1,419億余円)と比較して、74億余円(5.3%)減少している。これは主に、大久保病院の公社移管などにより給与費が20億余円、経費が33億余円それぞれ減少したことによるものである。

医業外費用は、75億余円で、前年度(77億余円)と比較して、2億余円(3.6%)減少している。これは主に支払利息及び企業債取扱諸費が減少したことによるものである。

特別損失は1億余円で、主なものは、大久保病院の公社移管に伴い固定資産を除却したことによるものである。

なお、給与費・職員数等については表10のとおりとなっている。

(表9) 費用比較表

(単位：百万円)

区 分	平成16年度 A	平成15年度 B	増(△)減	
			金額 C=A-B	率 C/B×100
医業費用	134,455	141,910	△ 7,455	△ 5.3
給与費	71,230	73,327	△ 2,097	△ 2.9
材料費	27,484	28,775	△ 1,290	△ 4.5
経費	22,315	25,638	△ 3,323	△ 13.0
減価償却費	12,526	13,204	△ 677	△ 5.1
資産減耗費	188	175	13	7.6
研究研修費	710	789	△ 79	△ 10.0
医業外費用	7,519	7,799	△ 280	△ 3.6
支払利息及企業債取扱諸費	3,946	4,150	△ 203	△ 4.9
繰延勘定償却	467	447	19	4.4
雑支出	3,105	3,201	△ 96	△ 3.0
特別損失	131	996	△ 864	△ 86.8
総費用	142,106	150,706	△ 8,600	△ 5.7

(表10) 給与費明細比較表

(単位：千円)

区 分	平成16年度	平成15年度	増(△)減
給料	28,533,888	29,477,635	△ 943,747
職員手当	24,499,435	25,989,982	△ 1,490,546
退職給与	4,193,196	3,905,664	287,532
報酬	4,072,661	4,043,938	28,723
賃金	720,486	735,997	△ 15,510
法定福利費	9,174,644	9,145,923	28,720
計	71,194,313	73,299,142	△ 2,104,829
職員数	6,848人	7,263人	△415人
平均年齢	39歳5月	39歳0月	5月
職員1人当たり 給与費	7,657千円	7,563千円	94千円

(注) 1 職員数及び平均年齢は、年度末現在である。また、職員数には、再任用短時間勤務者を、平成15年度19人、平成16年度22人を含む。

2 職員1人当たり給与費は、(給料+手当)÷月当たり平均職員数である。

以上の結果を事業の収益性を示す経営比率で見ると、表11のとおりであり、平成15年度に一般会計負担金を新たに計上したこと、入院収益が増加したこと等により医業収益が増加し、給与費の減少等により医業費用が減少したことにより、いずれの指標も平成14年度より改善され、平成16年度においてもその傾向が続いている。

(表11) 経営比率の推移

(単位：%)

項目	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	算式
経営資本 営業利益率	△20.3	△19.9	△22.1	△12.8	△12.1	$\frac{\text{営業利益}}{\text{経営資本}}$
営業収益 営業利益率	△41.8	△40.9	△42.6	△21.1	△19.7	$\frac{\text{営業利益}}{\text{営業収益}}$
総費用対 総収益比率	97.2	99.8	102	100.6	99.9	$\frac{\text{総費用}}{\text{総収益}}$
自己収支比率	70.5	71.1	70.2	72.1	71.7	

(注) 1 経営資本＝総資本－(建設仮勘定＋投資＋繰延勘定)

2 自己収支比率＝病院事業収益(一般会計繰入金及び特別利益を除く。)÷病院事業費用(特別損失を除く。)

2 財政状態について

(1) 資本的収支について

資本取引に係る資金の動きを示す資本的収支の状況は、表12のとおりである。

資本的収入は50億余円で、前年度(41億余円)と比較して、8億余円(20.2%)増加している。

これは主に、固定資産売却収入が8億余円増加したことによるものである。

資本的支出は159億余円で、前年度(147億余円)と比較して、12億余円(8.4%)増加している。

これは主に、企業債償還金が7億余円(9.0%)増加したことによるものである。

(表 1 2) 資本的収支比較表

(単位：百万円、%)

区 分		平成 1 6 年度 (A)	平成 1 5 年度 (B)	増 (△) 減	
				金 額 (C = A - B)	増減 (△) 率 C/B × 1 0 0
資 収 本 的 入	企業債	4,019	4,112	△ 93	△ 2.3
	国庫補助金	81	29	51	174.4
	固定資産売却収入	910	26	884	-
	その他資本的収入	0	2	△ 2	△ 100
	計	5,011	4,170	841	20.2
資 支 本 的 出	建設改良費	7,472	6,945	527	7.6
	企業債償還金	8,508	7,803	705	9.0
	計	15,980	14,748	1,232	8.4
差引資本的収支		△ 10,969	△ 10,578	△ 391	△ 3.7

(2) 資産及び負債・資本について

当年度末の資産、負債及び資本の状況は、別表 2 比較貸借対照表のとおりである。

資産総額は、2,029 億余円で、前年度(2,081 億余円)と比較して、51 億余円(2.5%)減少している。

これは主に、固定資産が 40 億余円、流動資産が 10 億余円それぞれ減少したことによるものである。

固定資産の減少は、主に、投資が 21 億余円増加したものの、建物の減価償却、大久保病院の公社移管による器械及び備品の譲渡などにより有形固定資産が 65 億余円減少したことによるものである。

負債総額は 154 億余円で、前年度(160 億余円)と比較して、6 億余円(3.9%)減少している。

これは主に、建設改良未払金が減少したことにより流動負債が 5 億余円減少したことによるものである。

資本総額は 1,874 億余円で、前年度(1,920 億余円)と比較して、45 億余円(2.4%)減少している。

これは主に、企業債の返還により借入資本金が 44 億余円減少したことによるものである。

次に、当年度における有利子負債及び支払利息等の状況は、表 13 のとおりであり、有利子負債が 44 億余円、支払利息等が 2 億余円それぞれ減少している。

(表 1 3) 有利子負債及び支払利息等の状況

(単位：百万円)

区 分		平成 1 6 年度 末残高(A)	平成 1 6 年度		平成 1 5 年度 末残高(B)	増 (△) 減 (A-B)
			増 加	減 少		
有利子負債	企業債	116,150	4,019	8,508	120,639	△ 4,489
区 分		平成 1 6 年度支払額 (C)		平成 1 5 年度支払額 (D)		増 (△) 減 (C-D)
支払利息等	企業債利息及 企業債取扱諸費等	3,947		4,150		△ 203

以上の財政状態を財務比率の推移で見ると、表 1 4 のとおりである。

自己資本構成比率について見ると、最近 5 年間ほぼ毎年増加傾向にあり、当年度においては 35.2%で、前年度 (34.3%) と比較して 0.9 ポイント増加している。これは企業債が 44 億余円減少したことなどにより総資本が 51 億余円減少しているが、自己資本金と剰余金の合計がほぼ横ばいであったことによるものである。

(表 1 4) 財務比率の推移

(単位：%)

項 目	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	算 式
流動比率	272.5	222.7	256.6	218.8	220.3	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$
自己資本構成比率	33.6	33.9	34.6	34.3	35.2	$\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}}$
固定長期適合率	87.5	88.4	88.5	88.0	88.0	$\frac{\text{固定資産}}{\text{長期資本}}$

(注) 1 自己資本 = 自己資本金 + 剰余金

2 長期資本 = 資本金 + 剰余金

(3) 資金収支について

当年度における資金収支の状況は、表 1 5 のとおりである。

資本的収入は、50 億余円で、これに対して資本的支出は、159 億余円であり、資本的収支資金不足額は 109 億余円となっている。

また、収益的収支において、減価償却費等の損益勘定留保資金等の合計額 105 億余円が資金剰余となり、資本的収支と収益的収支を合わせた資金収支において、4 億余円の資金不足となっている。

この結果、累積資金剰余额は、表 1 6 のとおり、185 億余円となっている。

(表 1 5) 資金収支表

(単位：百万円)

支 出		収 入	
項 目	金 額	項 目	金 額
資本的支出 (A)	15,980	資本的収入 (B)	5,011
		資本的収支資金不足額 (C = A - B)	10,969
		当期純利益	201
		損益勘定留保資金	13,207
		・減価償却費	(12,526)
		・繰延勘定償却	(467)
		・固定資産除却費等	(214)
		消費税資本的収支調整額	△ 17
		不動産信託受益権	△ 2,739
		退職給与引当金取崩し	△ 54
		資本剰余金取崩し	△ 76
		計 (D)	10,520
収益的収支の資金剰余額 (E = D)	10,520		
当年度資金剰余額 (F = E - C)	△ 449		
合計 (A + F)	15,531	合計 (B + D)	15,531

(表 1 6) 累積資金推移表

(単位：百万円)

区 分	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
当年度資金剰余(△)不足額	6,627	△ 2,284	△ 1,398	212	△ 449
累積資金剰余額	22,496	20,212	18,813	19,026	18,577

3 建設改良事業について

建設改良事業は、改良工事、器械及備品の整備を行っており、表 1 7 のとおり予算額 8 9 億余円に対し、決算額 7 4 億余円で、執行率は 8 3. 4 % となっている。

(表 17) 建設改良事業執行状況

(単位：百万円、%)

区 分	予算額 (A)	決算額 (B)	執行率 (B/A×100)	不用額 (A - B)
改良工事	4,345	3,314	76.3	1,031
器械及備品の整備	4,613	4,158	90.1	455
計	8,959	7,472	83.4	1,486

(1) 改良工事について

改良工事は、予算額43億余円に対し、決算額33億余円で執行率は76.3%となっている。

工事の主なものは、府中病院における熱源機器設備改修工事(2億余円)、広尾病院における昇降機設備改修工事(1億余円)である。不用額の主なものは、新病院情報システムの構築において、電子カルテを導入するための配線工事を実施した各病院(大塚・広尾・墨東)の実績減による2億余円、がん・感染症医療センター(仮称)の埋蔵文化財調査を実施しなかったことによる1億余円である。

(2) 器械及備品の整備について

器械及備品の整備は、予算額46億余円に対し、決算額41億余円で執行率は90.1%となっている。

整備購入した医療器械の主なものは、リニアック1台(3億余円)及び磁気共鳴断層撮影装置1台(2億余円)である。

(別表1) 比較損益計算書

(単位：円、%)

科 目	平成16年度	平成15年度	増 (△) 減	
	金額 (A)	金額 (B)	金額 (C)	増減率 C/B×100
1 医業収益	112,319,211,864	117,150,384,798	△ 4,831,172,934	△ 4.1
入院収益	70,414,137,952	74,646,368,097	△ 4,232,230,145	△ 5.7
外来収益	24,051,813,965	25,698,851,808	△ 1,647,037,843	△ 6.4
一般会計負担金	16,010,053,000	14,842,662,000	1,167,391,000	7.9
その他医業収益	1,843,206,947	1,962,502,893	△ 119,295,946	△ 6.1
2 医業費用	134,455,154,376	141,910,446,737	△ 7,455,292,361	△ 5.3
給与費	71,230,418,271	73,327,867,352	△ 2,097,449,081	△ 2.9
材料費	27,484,489,099	28,775,458,847	△ 1,290,969,748	△ 4.5
経費	22,315,087,070	25,638,497,987	△ 3,323,410,917	△ 13.0
減価償却費	12,526,606,833	13,204,082,900	△ 677,476,067	△ 5.1
資産減耗費	188,424,923	175,194,258	13,230,665	7.6
研究研修費	710,128,180	789,345,393	△ 79,217,213	△ 10.0
3 医業損益 (1 - 2)	△ 22,135,942,512	△ 24,760,061,939	2,624,119,427	△ 10.6
4 医業外収益	26,547,919,736	31,237,478,186	△ 4,689,558,450	△ 15.0
受取利息及配当金	2,746,103,105	2,795,325,533	△ 49,222,428	△ 1.8
一般会計負担金	2,624,294,000	2,766,870,000	△ 142,576,000	△ 5.2
一般会計補助金	18,441,653,000	22,851,251,000	△ 4,409,598,000	△ 19.3
国庫補助金	377,861,000	284,016,000	93,845,000	33.0
その他医業外収益	2,358,008,631	2,540,015,653	△ 182,007,022	△ 7.2
5 医業外費用	7,519,565,438	7,799,670,104	△ 280,104,666	△ 3.6
支払利息及企業債取扱諸費	3,946,968,229	4,150,612,429	△ 203,644,200	△ 4.9
繰延勘定償却	467,041,062	447,274,193	19,766,869	4.4
雑支出	3,105,556,147	3,201,783,482	△ 96,227,335	△ 3.0
6 経常損益 (3 + 4 - 5)	△ 3,107,588,214	△ 1,322,253,857	△ 1,785,334,357	△ 135.0
7 特別利益	3,440,470,410	1,419,972,708	2,020,497,702	142.3
8 特別損失	131,512,005	996,259,434	△ 864,747,429	△ 86.8
9 当年度純利益 (6 + 7 - 8)	201,370,191	△ 898,540,583	1,099,910,774	122.4
当年度未処理欠損金	3,723,313,025	3,924,683,216	△ 201,370,191	△ 5.1

(別表2) 比較貸借対照表

(単位:円、%)

科 目	平成16年度		平成15年度		増(△)減	
	金額 (A)	構成比 (%)	金額 (B)	構成比 (%)	金額 (C)	増減率 C/B×100
固定資産	165,032,200,662	81.3	169,054,604,338	81.2	△ 4,022,403,676	△ 2.4
有形固定資産	148,714,415,377	73.3	155,270,756,811	74.6	△ 6,556,341,434	△ 4.2
土地	1,870,209,464	0.9	2,594,694,254	1.2	△ 724,484,790	△ 27.9
立木	264,207,968	0.1	264,328,405	0.1	△ 120,437	△ 0.0
建物	214,253,830,351	105.6	213,587,348,418	102.6	666,481,933	0.3
建物減価償却累計額	△ 91,997,685,993	△ 45.3	△ 85,807,460,848	△ 41.2	△ 6,190,225,145	7.2
構築物	9,224,218,105	4.5	9,220,710,466	4.4	3,507,639	0.0
構築物減価償却累計額	△ 5,019,495,909	△ 2.5	△ 4,735,167,452	△ 2.3	△ 284,328,457	6.0
器械及備品	64,812,091,111	31.9	66,819,531,183	32.1	△ 2,007,440,072	△ 3.0
器械及備品減価償却累計額	△ 45,451,101,229	△ 22.4	△ 47,101,495,469	△ 22.6	1,650,394,240	△ 3.5
車両	83,572,992	0.0	84,560,992	0.0	△ 988,000	△ 1.2
車両減価償却累計額	△ 71,818,922	△ 0.0	△ 71,386,859	△ 0.0	△ 432,063	0.6
建設仮勘定	746,387,439	0.4	415,093,721	0.2	331,293,718	79.8
無形固定資産	1,464,372,370	0.7	1,059,400,000	0.5	404,972,370	38.2
無形固定資産	1,464,372,370	0.7	1,059,400,000	0.5	404,972,370	38.2
投資	14,853,412,915	7.3	12,724,447,527	6.1	2,128,965,388	16.7
年賦未収金	761,156,552	0.4	0	0	761,156,552	-
不動産信託受益権	27,095,392,210	13.4	24,355,616,868	11.7	2,739,775,342	11.2
不動産信託仮勘定	△ 14,940,240,897	△ 7.4	△ 13,568,274,391	△ 6.5	△ 1,371,966,506	10.1
その他投資	1,937,105,050	1.0	1,937,105,050	0.9	0	0
流動資産	34,022,477,059	16.8	35,044,903,303	16.8	△ 1,022,426,244	△ 2.9
現金預金	10,166,420,541	5.0	8,289,385,790	4.0	1,877,034,751	22.6
現金	90,383,073	0.0	88,145,588	0.0	2,237,485	2.5
預金	10,076,037,468	5.0	8,201,240,202	3.9	1,874,797,266	22.9
未収金	23,119,986,740	11.4	25,888,136,739	12.4	△ 2,768,149,999	△ 10.7
医業未収金	18,997,192,211	9.4	20,338,032,935	9.8	△ 1,340,840,724	△ 6.6
医業外未収金	4,038,275,251	2.0	4,226,614,476	2.0	△ 188,339,225	△ 4.5
その他未収金	84,519,278	0.0	1,323,489,328	0.6	△ 1,238,970,050	△ 93.6
貯蔵品	735,585,429	0.4	867,208,580	0.4	△ 131,623,151	△ 15.2
材料	705,856,646	0.3	837,658,298	0.4	△ 131,801,652	△ 15.7
その他貯蔵品	29,728,783	0.0	29,550,282	0.0	178,501	0.6
その他流動資産	484,349	0.0	172,194	0.0	312,155	181.3
前払金	484,349	0.0	172,194	0.0	312,155	181.3
繰延勘定	3,877,191,687	1.9	4,009,248,716	1.9	△ 132,057,029	△ 3.3
控除対象外消費税額	3,877,191,687	1.9	4,009,248,716	1.9	△ 132,057,029	△ 3.3
控除対象外消費税額	3,877,191,687	1.9	4,009,248,716	1.9	△ 132,057,029	△ 3.3
資産合計	202,931,869,408	100	208,108,756,357	100	△ 5,176,886,949	△ 2.5

(単位:円、%)

科 目	平成16年度		平成15年度		増(△)減	
	金 額 (A)	構成比 (%)	金 額 (B)	構成比 (%)	金 額 (C)	増減率 C/B×100
固定負債	0	0	54,708,148	0.0	△ 54,708,148	△ 100
引当金	0	0	54,708,148	0.0	△ 54,708,148	△ 100
退職給与引当金	0	0	54,708,148	0.0	△ 54,708,148	△ 100
流動負債	15,445,267,224	7.6	16,018,547,807	7.7	△ 573,280,583	△ 3.6
未払金	15,443,582,899	7.6	16,017,128,872	7.7	△ 573,545,973	△ 3.6
医業未払金	9,362,171,939	4.6	9,687,611,349	4.7	△ 325,439,410	△ 3.4
建設改良未払金	3,384,297,985	1.7	3,768,085,496	1.8	△ 383,787,511	△ 10.2
貯蔵品購入未払金	2,547,737,183	1.3	2,472,846,663	1.2	74,890,520	3.0
未払消費税及地方消費税	140,448,800	0.1	2,801,500	0.0	137,647,300	-
過誤納還付金	7,910,992	0.0	4,940,214	0.0	2,970,778	60.1
その他未払金	1,016,000	0.0	80,843,650	0.0	△ 79,827,650	△ 98.7
その他流動負債	1,684,325	0.0	1,418,935	0.0	265,390	18.7
預り金	1,684,325	0.0	1,418,935	0.0	265,390	18.7
負債合計	15,445,267,224	7.6	16,073,255,955	7.7	△ 627,988,731	△ 3.9
資本金	185,355,392,761	91.3	189,844,411,921	91.2	△ 4,489,019,160	△ 2.4
自己資本金	69,205,040,879	34.1	69,204,593,481	33.3	447,398	0.0
借入資本金	116,150,351,882	57.2	120,639,818,440	58.0	△ 4,489,466,558	△ 3.7
企業債	116,150,351,882	57.2	120,639,818,440	58.0	△ 4,489,466,558	△ 3.7
剰余金	2,131,209,423	1.1	2,191,088,481	1.1	△ 59,879,058	△ 2.7
資本剰余金	5,854,522,448	2.9	6,115,771,697	2.9	△ 261,249,249	△ 4.3
受贈財産評価額	3,000,533,065	1.5	3,340,562,984	1.6	△ 340,029,919	△ 10.2
国庫補助金	2,600,664,474	1.3	2,519,768,997	1.2	80,895,477	3.2
その他資本剰余金	253,324,909	0.1	255,439,716	0.1	△ 2,114,807	△ 0.8
欠損金	3,723,313,025	1.8	3,924,683,216	1.9	△ 201,370,191	△ 5.1
当年度未処理欠損金	3,723,313,025	1.8	3,924,683,216	1.9	△ 201,370,191	△ 5.1
資本合計	187,486,602,184	92.4	192,035,500,402	92.3	△ 4,548,898,218	△ 2.4
負債資本合計	202,931,869,408	100	208,108,756,357	100	△ 5,176,886,949	△ 2.5